

平成26年9月11日

平成26年夏期における水難・山岳遭難発生状況について

警察庁生活安全局地域課

平成26年夏期(7～8月)における水難発生状況

1 概要

(1) 全国の発生状況

平成26年夏期における水難は、

発生件数 475件 (前年対比 - 98件)

水難者 576人 (前年対比 - 88人)

うち死者・行方不明者
239人 (前年対比 - 43人)

であった。

このうち、中学生以下の子供(以下「子供」という。)は、

発生件数 111件 (前年対比 - 7件)

水難者 135人 (前年対比 - 20人)

うち死者・行方不明者
28人 (前年対比 + 3人)

であった。

(2) 都道府県別水難発生状況

水難発生件数を都道府県別にみると、

沖縄県 26件 神奈川県 25件 静岡県・新潟県 24件

の順であった。

2 水難の特徴と未然防止対策

(1) 場所別・行為別(死者・行方不明者)

死者・行方不明者239人について、発生した場所別にみると、海が45.6%と最も多く、次いで河川が42.3%、また、行為別にみると、水遊び・水泳中がそれぞれ22.2%、次いで魚とり・釣りが13.0%を占めている。

中学生以下の子供の死者・行方不明者28人について、発生した場所別にみると河川が53.6%と最も多く、次いで海が32.1%、また、行為別にみると水遊びが60.7%と最も多く、次いで水泳中が10.7%を占めている。

(2) 水難の未然防止対策

水難を未然に防ぐためには、余裕を持った計画を立てるとともに、以下のような点に留意する必要がある。

危険箇所の把握

魚とり・釣りでは、転落等のおそれがある場所、水泳や水遊びでは、水(海)藻が繁茂したり水温の変化や水流の激しい場所等の危険箇所を、事前によく調べる。

的確な状況判断

天候不良時、体調が悪いとき、飲酒したときなど、水難のおそれが高いときには、釣りや水泳を行わない。

ライフジャケット等の着用

釣りやボート等で水辺に行くときは、必ずライフジャケット等を着用(体のサイズに合った物を選び、正しく着用)する。

遊泳時の安全確保

- ・ 掲示板、標識等により危険区域と標示された区域内に入らない。
- ・ 遊泳区域を標示する標識、浮き等を移動し、又は損壊しない。
- ・ 遊泳区域以外の水域で遊泳しない。
- ・ 遊泳中、他人に抱きつくなどの危険な行為をしない。
- ・ 遊泳に当たっては、水深、水流を考慮し、安全な方法で遊泳する。

保護者等の付き添い

子供の水難防止のため、幼児や泳げない学童等を水遊びさせるに当たっては、その者を保護する責任のある者が付き添うなどして、目を離さないようにする。

表1 概要

		平成26年夏期		平成25年夏期		増減		
		総数	うち子供	総数	うち子供	総数	うち子供	
発生件数(件)		475	111	573	118	- 98	- 7	
水難者(人)	死者・不明者	死者	236	28	277	24	- 41	+ 4
		行方不明者	3	0	5	1	- 2	- 1
		小計	239	28	282	25	- 43	+ 3
	負傷者		115	31	132	40	- 17	- 9
	無事救出		222	76	250	90	- 28	- 14
	合計		576	135	664	155	- 88	- 20

注1:夏期とは、7～8月の2か月間をいう(以下同じ)。
 注2:子供とは、中学生以下の子供を内数で示す(以下同じ)。

表2 夏期の水難発生状況(過去5年)

	H22	H23	H24	H25	H26
発生件数(件)	725	590	620	573	475
水難者(人)	849	783	762	664	576
死者・不明者(人)	372	286	290	282	239
うち子供	46	33	29	25	28

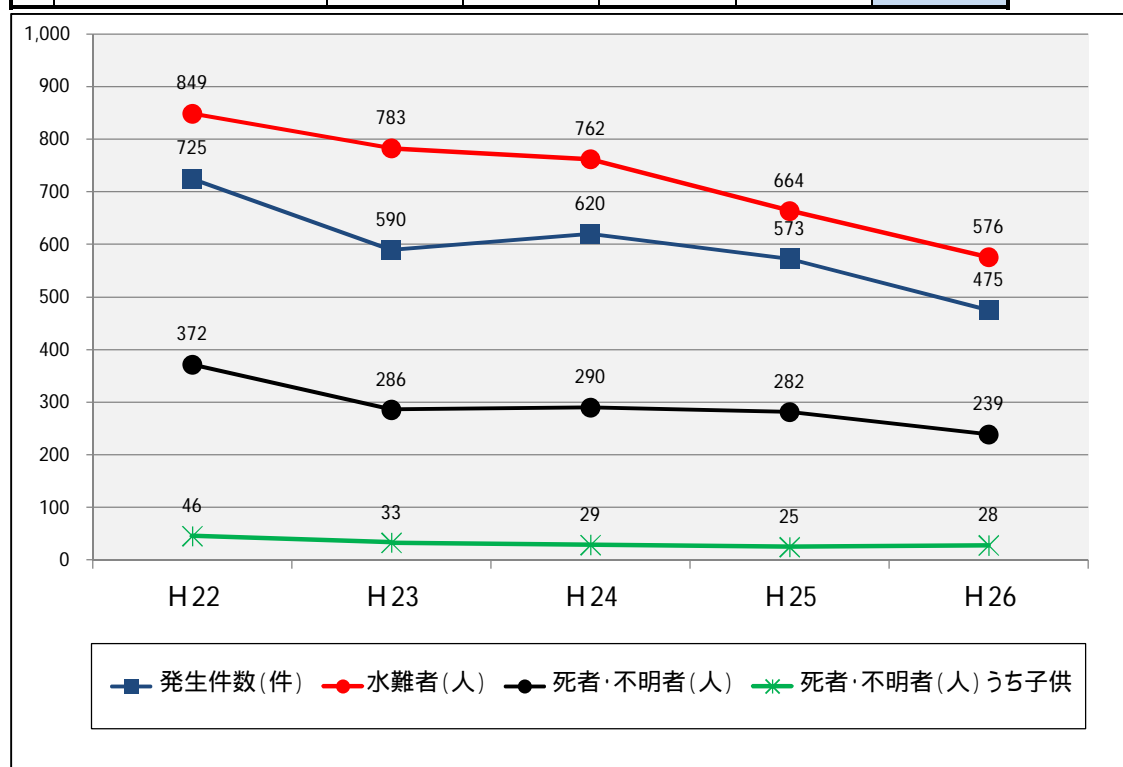


表3 都道府県別水難発生状況

(平成26年夏期)

都道府県	発生件数	水難者総数	死者	行方不明者	負傷者	無事救出
北海道	14	18	5		2	11
青森県	7	9	4		2	3
岩手県	4	4	4			
宮城県	6	9	2		2	5
秋田県	6	9	2			7
山形県	7	7	4		2	1
福島県	6	7	4			3
東京都	14	18	5		4	9
茨城県	13	16	4		2	10
栃木県	8	8	6			2
群馬県	1	1	1			
埼玉県	8	13	2		7	4
千葉県	17	21	5	1	10	5
神奈川県	25	37	13		10	14
新潟県	24	26	12	1	7	6
山梨県	5	8	1			7
長野県	8	8	5			3
静岡県	24	33	11		8	14
富山県	6	6	2		2	2
石川県	5	8	4			4
福井県	12	14	6		3	5
岐阜県	16	17	8		6	3
愛知県	11	12	5		3	4
三重県	8	11	4			7
滋賀県	5	5	2		1	2
京都府	14	17	8		5	4
大阪府	13	13	7			6
兵庫県	12	12	5		5	2
奈良県	2	2	1			1
和歌山県	21	31	4		8	19
鳥取県	1	3	2			1
島根県	4	4	1		3	
岡山県	9	10	6		1	3
広島県	9	9	6			3
山口県	13	16	4		3	9
徳島県	6	7	3	1		3
香川県	3	3	1		1	1
愛媛県	16	16	8		1	7
高知県	9	10	4		1	5
福岡県	7	8	4		2	2
佐賀県	3	3	2			1
長崎県	15	16	11		1	4
熊本県	11	12	7		1	4
大分県	6	10	2		1	7
宮崎県	6	6	5			1
鹿児島県	9	12	7		1	4
沖縄県	26	31	17		10	4
合計	475	576	236	3	115	222

表4 場所別死者・不明者

	平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
海	109	45.6%	144	51.1%	- 35	-24.3%
河川	101	42.3%	99	35.1%	+ 2	2.0%
用水路	19	7.9%	18	6.4%	+ 1	5.6%
湖沼地	6	2.5%	16	5.7%	- 10	-62.5%
プール	2	0.8%	5	1.8%	- 3	-60.0%
その他	2	0.8%	0	0.0%	+ 2	-
合計	239		282		- 43	-15.2%

表5 場所別死者・不明者(うち子供)

	平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
河川	15	53.6%	11	44.0%	+ 4	36.4%
海	9	32.1%	10	40.0%	- 1	-10.0%
用水路	3	10.7%	0	0.0%	+ 3	-
湖沼地	1	3.6%	3	12.0%	- 2	-66.7%
プール	0	0.0%	1	4.0%	- 1	-100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	± 0	-
合計	28		25		+ 3	12.0%

表6 行為別死者・不明者

	平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
水遊び	53	22.2%	55	24.2%	- 2	-3.6%
水泳中	53	22.2%	72	31.7%	- 19	-26.4%
魚とり・釣り	31	13.0%	68	30.0%	- 37	-54.4%
通行中	17	7.1%	23	10.1%	- 6	-26.1%
作業中	17	7.1%	16	7.0%	+ 1	6.3%
水難救助活動中	5	2.1%	4	1.8%	+ 1	25.0%
ボート遊び	4	1.7%	1	0.4%	+ 3	300.0%
陸上における遊技スポーツ中	2	0.8%	1	0.4%	+ 1	100.0%
その他	57	23.8%	42	18.5%	+ 15	35.7%
合計	239		227		- 41	-18.1%

表7 行為別死者・不明者(うち子供)

	平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
水遊び	17	60.7%	15	60.0%	+ 2	13.3%
水泳中	3	10.7%	7	28.0%	- 4	-57.1%
魚とり・釣り	1	3.6%	1	4.0%	± 0	0.0%
通行中	1	3.6%	0	0.0%	+ 1	-
水難救助活動中	1	3.6%	0	0.0%	+ 1	-
ボート遊び	1	3.6%	0	0.0%	+ 1	-
作業中	0	0.0%	0	0.0%	± 0	-
陸上における遊技スポーツ中	0	0.0%	0	0.0%	± 0	-
その他	4	14.3%	2	8.0%	+ 2	100.0%
合計	28		25		+ 3	12.0%

表8 年齢層別死者・不明者

		平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
子供	未就学児童	3	1.3%	5	1.8%	- 2	-40.0%
	小学生	15	6.3%	14	5.0%	+ 1	7.1%
	中学生	10	4.2%	6	2.1%	+ 4	66.7%
	小計	28	11.7%	25	8.9%	+ 3	12.0%
高校生又はこれに相当する年齢の者		12	5.0%	12	4.3%	± 0	0.0%
高校卒業以上に相当する年齢以上65歳未満の者		118	49.4%	134	47.5%	- 16	-11.9%
65歳以上の者		81	33.9%	111	39.4%	- 30	-27.0%
合計(人)		239		282		- 43	-15.2%

平成26年夏期（7～8月）における山岳遭難発生状況

1 概要

(1) 全国の発生状況

平成26年夏期における山岳遭難は

発生件数 583件（前年対比+14件）

遭難者 699人（前年対比+74人）

うち死者・行方不明者

52人（前年対比-3人）

であり、発生件数・遭難者は統計の残る昭和43年以降で最も高い数値となった。

過去5年間の山岳遭難発生状況をみると、発生件数、遭難者とも増加傾向にあり、平成22年と比較すると、

発生件数 +53件（+10.0%）

遭難者 +88人（+14.4%）

となっている。

(2) 都道府県別の発生状況

山岳遭難の発生件数を都道府県別にみると、

長野県 103件

富山県 67件

静岡県 65件

の順であった。

2 山岳遭難の特徴と未然防止対策

(1) 目的別・態様別・年齢層別

全遭難者699人について、目的別にみると、登山（ハイキング、沢登り、岩登り、スキー登山を含む）が81.8%と最も多く、次いで、観光が9.4%を占めている。また、態様別にみると、道迷いが31.9%と最も多く、次いで転倒が21.6%、滑落が14.4%を占めている。

年齢層別にみると、40歳以上が全遭難者の77.8%、60歳以上が全遭難者の49.4%を占めている。

(2) 山岳遭難の未然防止対策

山岳遭難の多くは、天候に関する不適切な判断や、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足等が原因で発生していることから、遭難を未然に防ぐため、登山に当たっては、以下のような点に留意する必要がある。

登山計画の作成、提出

気象条件、体力、体調、登山の経験等に見合った山を選択し、登山コース、日程、十分な装備、食料等に配慮して、余裕のある安全な登山計画を立てる。

単独登山はできるだけ避け、信頼できるリーダーを中心とした複数人による登山に努める。

また、作成した登山計画書は、家庭や職場、登山口の登山届ポストなどに提出しておく。

危険箇所の把握

計画を立てるとき、滑落等の危険箇所を事前によく調べる。

的確な状況判断

視界不良・体調不良時等には、滑落、道迷い等のおそれがあることから、状況を的確に判断して早めに登山を中止するよう努める。

滑落・転落防止

滑りにくい登山靴、ストック等の装備を有効に使用するとともに、気を緩めることなく常に慎重な行動を心がける。

道迷い防止

地図とコンパス等を有効に活用して、常に自分の位置を確認するよう心がける。

表1 概要

		平成26年夏期	平成25年夏期	増減
発生件数(件)		583	569	+ 14
遭難者(人)	死者・不明者	死者	51	- 3
		行方不明者	4	± 0
		小計	55	- 3
	負傷者	310	305	+ 5
	無事救出	337	265	+ 72
	合計	699	625	+ 74

注:夏期とは、7～8月の2か月間をいう(以下同じ)。

表2 夏期の山岳遭難発生状況(過去5年)

	H22	H23	H24	H25	H26
発生件数(件)	530	486	552	569	583
遭難者(人)	611	570	676	625	699
死者・不明者(人)	77	61	36	55	52

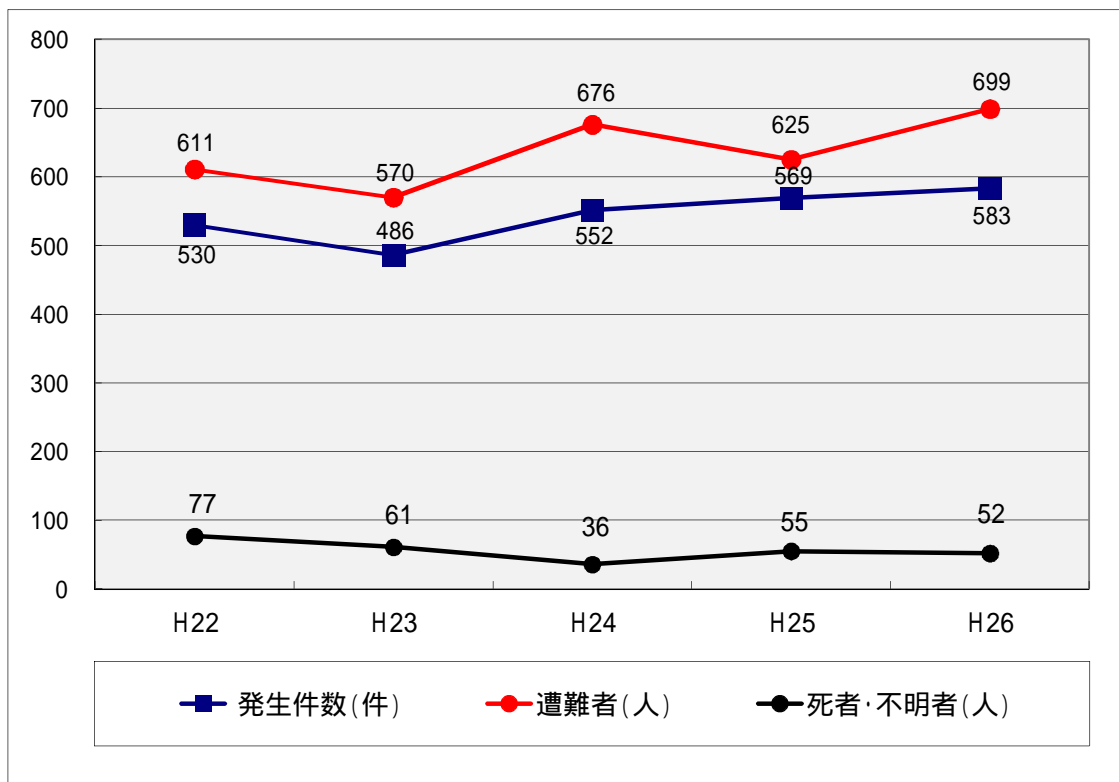


表3 都道府県別山岳遭難発生状況

(平成26年夏期)

都道府県	発生件数	遭難者総数	死者	行方不明者	負傷者	無事救出
北海道	23	24	1		13	10
青森県	7	9	2		3	4
岩手県	10	11			9	2
宮城県	4	5	1		4	
秋田県	10	15	2		2	11
山形県	20	26	2		7	17
福島県	13	15	1		8	6
東京都	21	23	1		14	8
茨城県	2	2			1	1
栃木県	10	12			5	7
群馬県	28	30	3	1	21	5
埼玉県	13	17	3		5	9
千葉県						
神奈川県	13	14			7	7
新潟県	15	18	1		9	8
山梨県	23	25	4		11	10
長野県	103	109	11	2	51	45
静岡県	65	71		1	27	43
富山県	67	75	5		40	30
石川県	9	10			10	
福井県	2	4	1			3
岐阜県	31	37	6		18	13
愛知県						
三重県	11	17	1		4	12
滋賀県	15	17	2		11	4
京都府	2	2			2	
大阪府	1	1			1	
兵庫県	17	22			10	12
奈良県	8	11			5	6
和歌山県	1	1				1
鳥取県	5	5			3	2
島根県						
岡山県	1	2				2
広島県	1	26				26
山口県						
徳島県	1	2				2
香川県						
愛媛県	6	6			2	4
高知県	1	1	1			
福岡県	2	7				7
佐賀県	1	1				1
長崎県	1	1			1	
熊本県	2	3				3
大分県	5	6				6
宮崎県	7	9			4	5
鹿児島県	6	7			2	5
沖縄県						
合計	583	699	48	4	310	337

表4 目的別遭難者

		平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
		人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
登山	登山	526	75.3%	432	69.1%	+ 94	21.8%
	ハイキング	24	3.4%	14	2.2%	+ 10	71.4%
	沢登り	16	2.3%	0	0.0%	+ 16	-
	岩登り	5	0.7%	12	1.9%	- 7	-58.3%
	スキー登山	1	0.1%	12	1.9%	- 11	-91.7%
	登山(合計)	572	81.8%	470	75.2%	+ 102	21.7%
	観光	66	9.4%	91	14.6%	- 25	-27.5%
	作業	13	1.9%	24	3.8%	- 11	-45.8%
	山菜・茸採り	10	1.4%	9	1.4%	+ 1	11.1%
	溪流釣り	8	1.1%	8	1.3%	± 0	0.0%
	写真撮影	5	0.7%	4	0.6%	+ 1	25.0%
	山岳信仰	5	0.7%	4	0.6%	+ 1	25.0%
	自然観賞	0	0.0%	1	0.2%	- 1	-
	狩猟	0	0.0%	0	0.0%	± 0	0.0%
	その他	20	2.9%	13	2.1%	+ 7	53.8%
	不明	0	0.0%	1	0.2%	- 1	-100.0%
	合計(人)	699		625		+ 74	11.8%

表5 態様別遭難者

	平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
転倒	151	21.6%	158	25.3%	- 7	-4.4%
道迷い	223	31.9%	128	20.5%	+ 95	74.2%
病気	87	12.4%	117	18.7%	- 30	-25.6%
滑落	101	14.4%	83	13.3%	+ 18	21.7%
疲労	62	8.9%	57	9.1%	+ 5	8.8%
転落	15	2.1%	24	3.8%	- 9	-37.5%
悪天候	7	1.0%	14	2.2%	- 7	-50.0%
野生動物襲撃	9	1.3%	8	1.3%	+ 1	12.5%
落石	7	1.0%	5	0.8%	+ 2	40.0%
鉄砲水	0	0.0%	3	0.5%	- 3	-100.0%
落雷	0	0.0%	2	0.3%	- 2	-100.0%
雪崩	0	0.0%	0	0.0%	±0	-
有毒ガス	0	0.0%	0	0.0%	±0	-
その他	28	4.0%	21	3.4%	+ 7	33.3%
不明	9	1.3%	5	0.8%	+ 4	80.0%
合計	699		625		+ 74	11.8%

表6 年齢層別遭難者

	平成26年夏期		平成25年夏期		増減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減率
15歳未満	17	2.4%	26	4.2%	- 9	-34.6%
15～19	27	3.9%	28	4.5%	- 1	-3.6%
20～24	30	4.3%	28	4.5%	+ 2	7.1%
25～29	31	4.4%	33	5.3%	- 2	-6.1%
30～34	23	3.3%	20	3.2%	+ 3	15.0%
35～39	27	3.9%	29	4.6%	- 2	-6.9%
40～44	35	5.0%	41	6.6%	- 6	-14.6%
45～49	47	6.7%	37	5.9%	+ 10	27.0%
50～54	51	7.3%	48	7.7%	+ 3	6.3%
55～59	66	9.4%	53	8.5%	+ 13	24.5%
60～64	100	14.3%	74	11.8%	+ 26	35.1%
65～69	108	15.5%	82	13.1%	+ 26	31.7%
70～74	92	13.2%	78	12.5%	+ 14	17.9%
75～79	31	4.4%	38	6.1%	- 7	-18.4%
80～84	11	1.6%	9	1.4%	+ 2	22.2%
85～89	3	0.4%	1	0.2%	+ 2	200.0%
90歳以上	0	0.0%	0	0.0%	± 0	-
不明	0	0.0%	0	0.0%	± 0	-
合計(人)	699		625		+ 74	11.8%